

大会等誘致推進事業

573万円

各種大会や合宿等を誘致し、宿泊者の人数に応じて補助金を支給する。

質疑

問 事業実績と今後の予算増額は。

答 利用者は年々増えており、必要に応じ予算の増額も考えていきたい。

意見

昨年の補正予算審査時に要望した宿泊者数と補助金額の区分の見直しが実施されており、活用しやすくなったとの声があった。



新規就農者支援事業

825万円

国の給付金事業の対象とならない45歳以上の新規就農を希望する者に対し、農業技術習得に必要な研修及び新規就農に必要な費用に給付金を支給する。

質疑

問 事業実績と就農後の状況は。

答 給付金受給者のうち、現在営農を継続しておられる方が、市の事業による就農者が8名、国の事業による就農者が46名となっている。昨年度実施した就農診断では、経営が順調なA判定が23名、重点指導が必要なB判定が31名。



ふるさと応援寄附金推進事業

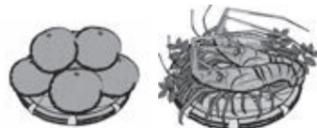
7,008万円

ふるさと応援寄附金（ふるさと納税）の制度内容の周知、お礼品の充実を図りながら寄附金を募り、寄附のお礼として市の特産品などを贈呈した。

質疑

問 目標額3億円にむけてどういった取り組みを行っているか。

答 インターネット受付サイトや返礼品を充実。また、今年度から今まで、送料・手数料込みで寄附額の3割としていた返礼品の額を送料・手数料別で3割としたことから、内容の充実が図られている。



平成29年度一般会計歳入歳出決算を認定

決算審査を予算編成に反映を!!

予算決算委員会では9月10日、11日に平成29年度一般会計歳入歳出決算の審査を行い、認定しました。

なお、決算の詳細については市政だより天草11月号に掲載されていますので、本紙では審査の際の質疑の内容等をお知らせします。

平成29年度一般会計

歳入 **594億1,941万9,330円**

歳出 **564億2,126万0,316円**

差引 **29億9,815万9,014円**

監査委員の意見の一部をご紹介します

歳入面については、自主財源の根幹である市税収入全体で増加がみられる。しかしながら、合併算定替期間終了に伴う地方交付税の段階的な減少という継続的なマイナス要因を抱えており、歳出面では、市庁舎建設など大型事業の推進や、社会保障分野の扶助費の増加は避けられない状況にあり、財政状況は厳しさを増すものと予想される。

今後も、歳入が大きく増加することは期待できず、経費節減を基本とした効率的な行財政運営が求められる。また、まちづくりや行政サービスの最適化を図っていくことも必要となる。市民ニーズを的確に把握し、真に有効な事業を見定め、費用対効果を検証するとともに、発想の転換と創意工夫による見直しを行い、限りある財源の有効活用をより強く押し進められたい。

決算ってなに？ なぜ議会で審査するの？

地方公共団体における決算とは、一会計年度の歳入歳出予算の執行の結果・実績を表示する計数(表)を行い、事務事業の目的や成果を明らかにすることに加えて、公金の適正な収入及び支出を明らかにしなければなりません。

このため「決算」は、地方自治法の定めにより、会計管理者が作成調製し、監査委員の審査を経て、市長が市議会に提案し、市議会の認定を得ることになります。



決算審査における 議会の意見

今回の委員会では、執行部に対して、さまざまな意見や改善をお願いいたしました。内容としては、当初予算に反映できるか検討を要するもの、業務として改善すべきものなど多岐にわたっております。

議員間討議を実施

委員会では、採決の前に議会基本条例第13条で定める「議員間の自由討議」を実施しました。自由討議は、会派間等での協議を経てから行い、今回は、「補助金支出後の効果の検証について」、「PDC Aサイクルを意識した議論について」、「決算に係る歳入の説明資料の充実について」、「活発な議論を行うための質問内容や執行部答弁の充実について」意見が出され、さまざまな協議を行いました。



災害対策費 3,029万円



災害に対応するため、備蓄品の購入や防災マップの作成を行うほか、災害時の土砂取り除き、避難路の補修への原材料支給を行う。

要望

いざという時、活用してもらうために定期的に周知を図ってほしい。

サンタクロースの聖地・天草 推進事業 3,100万円

サンタクロースの聖地・天草として、サンタクロースやクリスマス関連イベントを実施し、観光産業等の振興を図る。

質疑

問 住民にも浸透しておらず、観光としての効果も見込めないのではあれば廃止すべきではないか。

答 イベントの中でイルミネーションは旅行雑誌などにも掲載されるなど好評である。事業開始から6年が経過し、現在の形の事業となって3年目であることからこれまでの効果を検証して、今後の取り組みについては、事業内容の見直しを含めサンタ推進協議会とも協議したい。

広域観光推進事業 3,192万円

公共交通機関でお越しになる観光客の周遊手段として、島内を巡回するバスを運行する。

質疑

問 周遊バスの乗客数が少ないのであれば廃止も含めて検討すべきではないか。

答 コースの見直しや崎津集落の世界文化遺産登録などの効果もあり今年度は乗客数も増えてきており、公共交通を利用してお越しになる観光客への対策として現段階では廃止することは考えていない。

意見

路線バス運行維持にも3億円以上の補助金を出しているので、そこでのアクセス改善を進めていくことも検討してほしい。